

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2015年7月4日（土）

第497号 本号1号

近藤民主党幹事長代理、山下日本共産党書記局長、福島 社民党副党首がそろって連帯と決意のあいさつ

総がかり行動実行委員会

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は7月3日夜、第10回実行委員会を開催。その冒頭に、野党3党の幹部が国会情勢の報告、連帯と激励のあいさつを述べました（発言要旨は別項＝発言順）。最後に3幹部はつないだ手を掲げ、会議参加者の盛んな拍手に応えました。

近藤昭一民主党幹事長代理

13日に公聴会開催が決められた。維新の党が対案を出した。民主党の中にも対案を出すべしの考えの人たちもいるが、「違憲の法案に対案はありえない」というのが私の考えである。

3日の特別委員会では枝野幹事長が、47年政府見解と「新3要件」との関係を追及した。岡田民主党代表に、外で訴え、党の姿を明らかにするよう働きかけている。廃案までともにがんばろう。

山下芳生日本共産党書記局長

15日委員会採決がいわれる緊迫した情勢だ。この間の特徴の一つは、審議するほどに違憲の法案であることが明らかになっていることである。6月4日の憲法学者に続き、自民党政権の中にあつた歴代内閣法制局長官、政府高官であつた柳澤さんらも発言している。長くやっても違憲の法案にかわりなく、撤回、廃案しかない。もう一点は、世論の広がり。違憲だ、反対だとの声が毎日のように国会をとりまいている。草の根の声も大きく広がっている。こうした中でも焦つた自民党若手の大失態、こんな党に安全保障を語る資格はない。

中央公聴会を開いたら審議は終わり、出口が決まるとすべきではない。税と社会保障一体改革法案の審議では、採決まで中央公聴会開催後10数日間あつた。

維新の党を含めた野党のスクラムが必要だ。若者の行動に各党から参加した。通させない、強行させないとの一点で共同をたぐりよせたい。最後まで可能性を追求する。

最後に決めるのは世論。追い込んでいるのは私たち国民世論であり、確信持ちさらに広げよう。

福島瑞穂社民党副党首

3日国会正門前の憲法学者らのリレートークに参加してきた。手を変え品を変えて迫ることが必要。長谷部教授の意見表明は大きな衝撃だった。保守的論壇にいる人たちと安倍政権の間にくさびを打ち込み、この人たちが安倍首相を見放すようにしよう。

若者、女性、労働者の動きは、原発問題と同じように戦争法案でも大事だ。95日間の内に安倍政権を倒そう。「憲法違反」と「安倍政権はなにかへん、ものすごくへん」の両面から声をあげよう。公明党や自民党議員への働きかけ、創価学会の皆さんにも訴えよう。廃案、安倍打倒でがんばろう。

維新の党についての会場からの質問に、「この党は大阪都構想で負けた。世論に左右されやすい。自らのピンチを自覚している。『まだ早い』とも言うており、全国各地で訴え、世論がたいへんなことになっている状況にすることが大事」（山下書記局長）、「敵にしない。かつて超党派の勉強会に参加していたみんなの党のメンバーがだんだん変わってきた。つながりある身近な人から、また地元からの働きかけも有効で重要」（福島副党首）、などと答えました。